

月刊

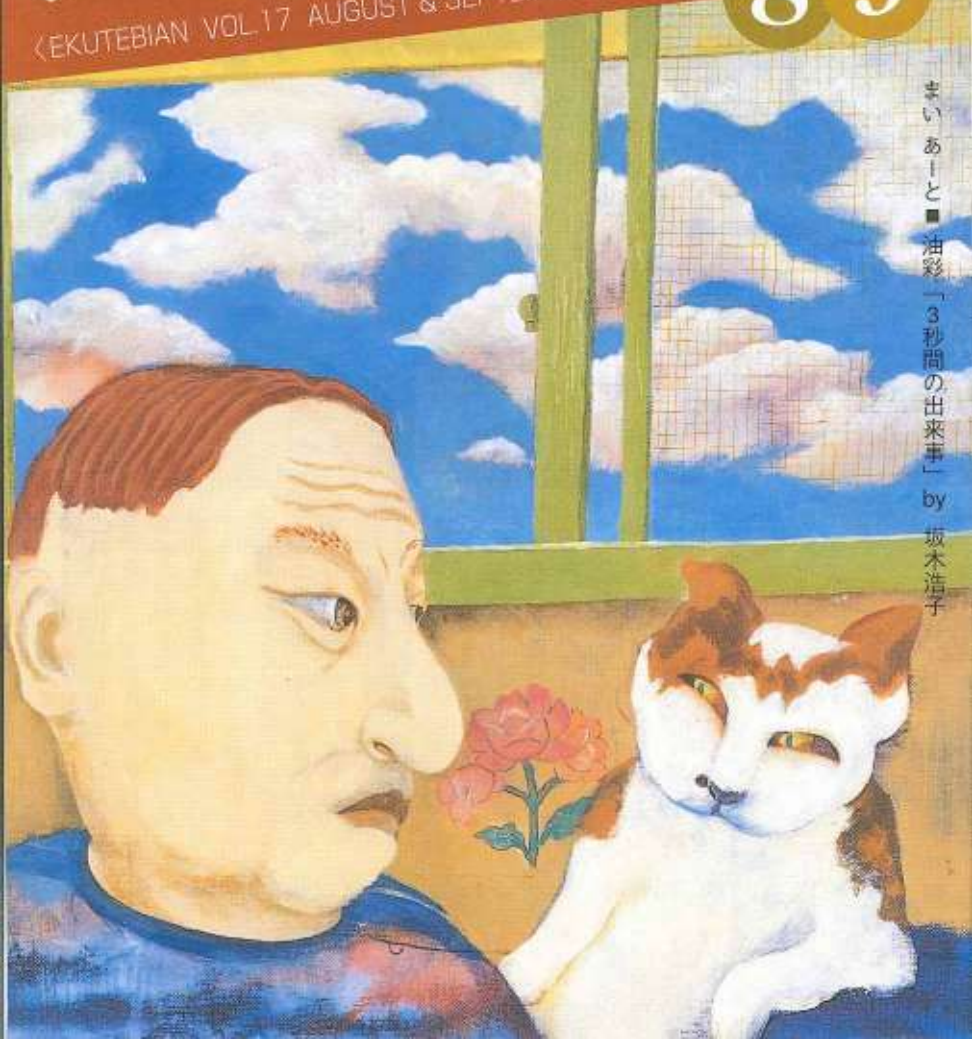
立川と語ろう 立川に生きよう

# えくてびあん

〈EKUTEBIAN VOL.17 AUGUST & SEPTEMBER 1998〉

89

まいあーと ■ 油彩「3秒間の出来事」 by 坂本浩子



# 流泉寺の『大日如来』

流泉寺は江戸時代初期開発が始まった砂川村の菩提寺で、開創以来およそ三百五十年の歴史をもつ臨済宗の寺です。

この大日如来像は、延宝五年十二月建立とあるので、三百二十年余り砂川の発展の様子を見て来られた仏様です。

大日如来は本来真言密教の仏様で、頭に五智宝冠をかぶり、胸の前に左手の人差し指を右手で握る智拳印を結んでいます。像の高さ七十センチの立像で、現在立川市内の大日如来像はこの一体のみです。

この石仏は流泉寺の境内に続く墓地の入口付近に在り、最近建てられた観音様、そして子育て地藏と、三体並んで祀られています。

立川民俗の会 豊泉喜一さん・談



- 所在地：砂川町2-44-1 流泉寺
- 建立：延宝5年（1677年）



### 夏の銀河

織女星と牽牛星を挟んで、天の川の光の帯が真横に走っている。白鳥座、夏の第三角形も見ることができる。野辺山にて撮影。

### 百武彗星

アマチュア天文家・百武裕司さんの発見による。96年3月から5月まで空を駆けぬけた。長く延びた尾が美しい。96年3月26日、清里にて。



### オリオン座

冬の星座の代表選手。星の軌跡がきれいに写っているのを確認した時は、思わず「やった」。95年11月、清里にて。



### 金星食

金星が月と重なり、隠れてしまう現象。ここ立川からもはっきりと見ることができた。89年12月2日、立川にて撮影。



### 八ヶ岳と ヘールポップ彗星

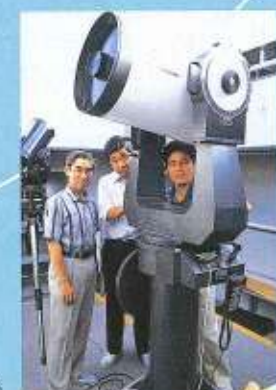
2500年振りに巡ってきた美しい彗星に世界中が沸いた。この時の興奮は生涯忘れられないだろう。97年3月30日、清里にて。

## えくてびあんレポート

# 星を観るひと

人は空に瞬く星にどんなにか希望をつなげてきたことだろう。  
人は輝く星座にどんなにか願いをかけてきたことだろう。  
そして、不思議なことに星を見上げる習慣のある人と、  
そうでない人とがいる。

加藤正嘉さん(富士見町)は登山家であり、写真家であり、  
満天の星たちを愛してやまない。この三拍子が揃うと、膨大な  
「星のアルバム」となるが、今月はその中から数葉の写真を  
公開していただいた。時はまさに、天高き候となりつつある。  
あなたのロマンを高揚させる好機到来ではないだろうか。



加藤さん(右)と仲間の人たち



## たみ子さんのうた

1

詩・清水たみ子



画・佐藤多持

雀すずめの卵たまご

あさはりは雀すずめの卵たまごだと、  
小さい私は思ってた。

海にうまれる貝だって、  
いくらみんながいったって、  
きつとそうだと思ってた。

だあれも見えない朝早く、  
雀がおとしていくんだと、  
私はいつも思ってた。